

# 令和5年度 年間授業計画

都立田無工科高等学校

教科・科目	国語 現代文B		単位数	3
対象学年・組	3学年全クラス	教科担任	MA:高尾 MB:村社 AA:高尾 AB:村社 CA:村社	
教科書 ・ 副教材	標準 現代文B(改訂版)  テスト式 国語常識の総演習(修訂三版増補)			
1. 目標				
(1) 実社会に必要な国語の知識や技能を身に着ける。 (2) 近代以降の様々な文章を的確に理解する。 (3) ものの見方、考え方を深める。 (4) 考えたことを表現する能力を高める。				
2. 学習内容と学習上の留意点				
学期	月	単 元	指導内容・指導目標	予定時数
1 学 期	4		年間を通じて、ワークシートを用いた語句、構成、要旨、本文の読解を行う。また、漢字の読み書き、ことばの使い方、文章表現等についての学習を集中して毎週1時間行う。	
	5	「食と想像力」	(1)文章の中から問題点を見つけ、それについて考える。 (2)筆者の体験を追体験することで、現代社会について考える。	9
	6	「記憶のゆがみ」	(1)文章の論理構造を把握し、筆者の主張を正確に読み取る。 (2)筆者の主張を自身の生活に引き付けて読む。	12
	7			6
	1学期授業時数計			
2 学 期	9	「鏡としての他者」	(1)筆者の主張がどのように展開しているか論理構造を把握する。 (2)文章で扱われている問題について改めて考え、考えること・知ることの面白さを体験する。	12
	10			12
	11	「折々のうた」	(1)近代俳句・近代短歌に親しむ。 (2)各作品に読まれている自然や人生を理解し、自分を取り巻く自然や生活を見つめ、創作をおこなう。	9
	12			9
	2学期授業時数計			
3 学 期	1	「経験の教えについて」	(1)文章の流れに沿って内容をつかみ、筆者の主張を理解する。 (2)日常生活の中にある問題に対して関心を持つ。	4
	2	「山椒魚」	(1)小説を精読することでその面白さに気づく。 (2)小説が、創作(フィクション)として書かれていることの理由について考える。	6
	3			3
	3学期授業時数計			
年間授業時数合計				82
3. 評価の観点・方法				
(1) 定期考査: ①各考査の平均点を50ポイントとし、以上を増、以下を減し点数化する。 ②各考査の平均点の半分に満たない場合を赤点とする。  (2) ワークシート: 定期考査ごとに確認と評価を行う。				